



前里 光信 議員

認知症施策も含め策定されており、認知症になっても安心して生活ができる仕組みづくりに努めていきたい。

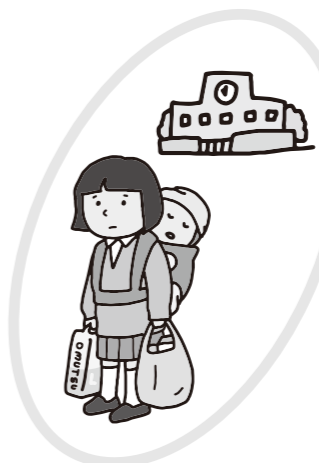
問 西原町では認知症と思われる町民は何人ほどいるか。町への相談例はあるか。

福祉部長 令和5年3月31日に現在日常生活に支障を来すような症状や行動がある者は785人ほどとなり、おり、物忘れや同じ話を繰り返す、意欲低下など認知症への対応について相談があった。

■町内のヤングケアラーについて

問 町内のヤングケアラーの実情とその対策の在り方はどうなっているか。

福祉部長 令和5年8月に町立小学校5年6年生、中学校全生徒に対し、教育委員会で行ったアンケート調査からヤングケアラーと思われることも、小学校では82名、中学校では61名となっている。こどもたちの置かれている状況は様々であるため、家族の意向を確認しながら、こども課、教育委員会、学校、福祉担当部局など関わる機関が連携を図り、必要とする支援の案内、見守り等に努める。



■薬物乱用防止教育について

問 最近、中高生達が麻薬に関わるケースが報じられているが、その対策はどんなになっているか。

教育部長 県教育委員会の通知により教育活動全体を通して、薬物等に関する専門知識を有する警察職員等との連携をすること等を行っている。すでに5校が実施しており、未実施1校については今月実施する予定となっている。

その他の質問

- 町道の管理、運営について
 - ア町道小波津〜津花波線
 - イ町道小波津〜翁長線
 - ウ町道我謝〜小波津線
- 町内の空き家の現状とその活用方法
- 西原まつりについて
- 「さわじマルシェ」の営業時間について
- 琉球大学附属病院の後地問題

■土地区画整理事業について

問 字小波津四〇二番地辺りからマルシェ方面にかけては、数年後を見据えて西原南小学校区域の活性化に寄与すると確信する。地目変更は可能か問う。

町長 当該地域から南小学校周辺地域も含め、学校周辺住戸として良好な住環境への構想を持っている。都市



大田 実 議員

計画マスタープランにおいて、当該箇所周辺の土地利用見直しの取組みを進めており、南小学校周辺地域の都市計画の取組みは時期を勘案し検討して行きたい。

■小波津川街路樹について

問 小波津川街路樹について地域住民は小波津川街路樹に桜の木の

要望が多い。町役場周辺は、やはり町花木のサワフジも楽しみたいようで、景観が良ければ西原町に移住して良かったと自らの地域を愛し、誰しも訪れたくなる。これは地域住民からの声である。可能か問う。

建設部長 小波津川沿線では、小波津川北線、南線、小波津川屋部線の3路線の道路整備を実施している。3路

■道路整備について

問 字翁長から池田ハイツ向け(安津田)の町道整備を要望する。

建設部長 町道整備については、西原町道路整備計画に基づき進めている。現在整備中の道路では、道路事業で4路線、街路事業で2路線の事業を進めている。当該道路は池田、翁長になると思うが、道路整備から30



痛みが目立つ町道池田〜翁長線の整備を!

問 国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用推進協議会の今後のスケジュール案を含め、町が懸念することはないか。

町長 12月に実施されるサウンディング調査の結果も踏まえ、年度内に推進計画が策定される予定。懸念は、当該地域は都市マス上、文教地区に位置付けられておりそれを踏まえたまちづくりの視点、住民生活に配慮した活用を期待している。

問 10月23日から25日まで、総務財政常任委員会の所管事務調査で12年前の東日本大震災後の復旧状況等の視察を宮城県で実施してきた。大規模な災害には、その前後の対策は国、各自体体がしっかり講ずべき。各自自治体の防災行政無線システムの更新に一括交付金を活用する考えは。

総務部長 それが可能か、担当部署と沖縄県と調整中。

■町政全般について

問 次年度予算編成の進捗状況と諸事業の見直しおよび一括交付金活用事業計画の予定は。

町長 7月から事業計画表を作成、8月上旬に計画ヒアリング、10月の予算編成方針に基づき、各課予算要求



喜納 昌盛 議員

問 西原町中央公民館の再編整備の事業化の方向性は示すことができるか。

町長 令和4年7月28日に第一回検討委員会を開催し、諮問を行う。その後五回開催し、様々な審議、議論を重ね、当初予定の整備費を大幅に超える想定事業費が示され、他事業への影響等も考慮し、一旦休止の判断を行ってきた。今後関係課を中心に検討を継続する。



琉球大学医学部移転のキャンパス跡地利用推進協議会とは?

